

# 学びの広場

地域で学び、活動する  
皆さんを応援します  
北秋田市教育委員会

- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ



## 綴子小学校防災キャンプ

～もし綴子小学校が避難所になったら～

綴子小学校で初めて「防災キャンプ」が9月20日と21日に行われ、自分の身を自分で守る大切さを学び、地域住民らとコミュニケーションを深めました。

今回のキャンプでは、災害により電気と水道のライフラインが絶たれたことを想定し、非常時の実践力を高めるとともに防災意識の高揚を図りました。

自衛官の皆さんから東日本大震災での活動や災害装備の講話を聴いたり、一度に200人分の食事が作れるトレーラー「野外炊具1号」で炊かれたご飯で夕食のおにぎりを作ったほか、婦人会員の炊き出し

や、ダンボールハウスやテントの設営などを児童と保護者、地域住民が協働で行いました。



▲陸上自衛隊21普通科連隊の自衛官の皆さん

## “わ”の地域は“ワ”で起こす

～公民館による『おらほの地域応援し隊』プログラム～

公民館による「おらほの街のまちづくりシンポジウム」が9月24日、交流センターで開かれ、地域の若手起業家のプレゼンテーションやディスカッションを聞きながら、参加した市民らが新たなまちづくりや地域の活性化などの課題について考えました。

シンポジウムでは「北秋田の若き起業家へ続け」をテーマに、北秋田管内で仕事をしている武田昌大氏、畠山伸吾氏、日景賢悟氏の3人が、それぞれの職業観や地域での取り組みを熱く語りました。

また、参加した秋田大学の学生10人は、若手起

業家の話を真剣に聞きながら、夢を実行していく姿勢に刺激を受けた様子でした。



▲3人の若手起業家によるディスカッション

## 自分らしく生きる・暮らす

～阿仁公民館公開講座「地域・老年看護学講座」～

阿仁公民館公開講座「地域・老年看護学講座」が10月16日に開かれ、秋田大学大学院医学系研究科で保健学専攻の教授・中村順子氏が、「最後まで自分らしく生きる・暮らす～元気なときも介護が必要になっても～」と題して講話しました。

中村先生は、秋田県の在宅医療の現状と課題について触れ、「自分らしく生活できる場所は、家、地域である。在宅療養という選択肢もある。自分らしく生きるQOL(生活の質)を自分で考えていくことが重要である」と述べられました。

参加者は、地域での関わり方などを質問するなど、真剣な表情で聞き入っていました。



▲座談会形式で行われた公開講座

### 中央公民館公開講座

開 中央公民館 ☎62・1130

#### ○教育事情講座

～エデュケーション・カフェ～

秋田県の学力の高さの秘密は？  
今の教育事情を探る定期講座の最終回を公開講座で行います。どなたでもお気軽においでください。

期 11月27日(水)  
時 13時30分～15時  
場 中央公民館  
講 秋田大学教育文化学部教授 阿部昇氏



内容 「秋田の子どもの学力」

### 阿仁文化交流のつどい

開 阿仁公民館 ☎82・2220

「ともに学びあい地域の輪をひろげよう」をテーマに、阿仁地区の文化交流のつどいを開催します。皆さんのご来場をお待ちしています。

演 11月17日(日) 9時30分～15時  
展 11月16日(土)、17日(日) 9時～17時

場 阿仁ふるさと文化センター  
内 作品展示、ステージ発表



### もりよし文化交流会

開 森吉公民館 ☎72・3259

森吉地区の文化交流会を開催します。皆さんのご来場をお待ちしています。

演 11月17日(日) 10時～14時30分  
展 11月17日(日)～12月末

場 森吉コミュニティセンター  
内 各団体のステージ発表、作品展示、食堂など

### あいターミナルパソコン講座

開 合川公民館 ☎78・2114

#### ○初心者講座

期 ①11月12日(火)／②15日(金)／③19日(火)／④22日(金)  
○Word 2010 初級講座

期 ①11月26日(火)／②29日(金)／③12月3日(火)／④6日(金)  
○Excel 2010 初級講座

期 ①12月10日(火)／②13日(金)／③17日(火)／④20日(金)  
▲各講座共通事項▼

時 18時30分～20時30分  
会 上杉あいターミナル  
対 市民及び市内に勤務する方  
参 テキスト代1000円  
定 先着10人



### ふるさとの文化財

68

#### 北秋田市指定無形民俗文化財 (民俗芸能)

##### ○前山郷土芸能

- ◇所在地 北秋田市前山
- ◇管理者 前山郷土芸能保存会

◇内容▼  
獅子踊り、奴踊り、雑魚釣り舞  
◇起源▼  
前山地区に伝わっている郷土芸能は、江戸時代中頃(今から約250年前)、米代川の大洪水によって当時の集落を移転して新しい村づくりを始めた時、先祖の供養や豊作祈願、無病息災、厄除けを祈るため、村社であった雷皇神社に奉納されたのが始まりと伝えられています。

◇構成▼  
踊りの構成は、佐竹氏が秋田に来た時の行列を真似た踊りと言われています。

1・ブッコミ、2・奴踊り(花奴、あわ奴、わきふみ奴、あやの七積り、水戸奴、カジ奴、トラコバカゲなど)、3・棒使い、4・雑魚釣り舞

かつては奴踊りの直前に獅子踊りが存在しましたが、現在は伝承されておられません。「雑魚釣り舞」は、釣りの好きな兄弟がこつけいに演じ、とてもユーモアのある演目で貴重な文化財です。



▲雑魚釣り舞

- ◇雑魚(じゃこ)釣り舞  
雑魚(いろいろな小魚)
- ◇奴(やつこ)
- ◇江戸時代の武家の奉公人で、主人(殿様)の行列に槍や長柄(柄の長い武器)を持って、供先(先頭)を務めた。
- ◇鷹巣地区の民俗芸能は獅子踊りと奴踊りが基本とされています。
- \* 通常公開日は8月13日。
- \* 「第8回北秋田市民俗芸能大会」が9月28日に文化会館で開催され、前山郷土芸能が披露されました。
- ▽平成25年6月27日指定文化財
- ▽資料/北秋田市教育委員会作成資料、「日本史辞典」(角川新版)、「広辞苑」、「鷹巣町史第1巻」
- ▽紹介者/北秋田市文化財保護審議会委員 照内捷二